

臼杵高生がスイーツ

韓国で流行のクッキー + 地元産のカボス

【臼杵】日中韓3カ国の文化交流イベント「東アジア文化都市2022」事業で、臼杵高生徒が臼杵市内の飲食店で提供するオリジナルのスイーツメニュー作りに取り組み、審査の結果、柴田桃果さん(18)の作品が選ばれた。市の観光PRキャラクター「ほっとさん」の形を模したメレンゲクッキー「cookieさん」。今後、商品化して来年、市中央通り商店街の豊後感動本舗で発売される。

商品化、来年市内店舗で発売



臼杵市内の飲食店で提供するオリジナルのスイーツ「cookieさん」を考案した柴田桃果さん。臼杵市の臼杵高

フードデザインの授業で、選考する3年生23人が挑戦。▽韓国の食文化ややりなどの要素が入っている▽臼杵産の原材料を使う▽の2点を条件に考案し、6案が1次審査を通過した。16日に同校であった最終審査会では、考案した生徒をリーダーに六つのチームに分かれて調理。審査員に作り方やこだわり、工夫した点などをアピールした。「cookieさん」は韓国ではやっているメレンゲクッキーとし、地元産カボスの爽やかな酸味を加えることで甘くなりすぎず、サクサクと何枚でも食べられるスイーツに仕上げた。「ほっとさんの色味を出すのに苦労したが、ココアパウダーを混ぜることで望みの灰色を表現すること

柴田さん SNS映えも意識



最終審査会でオリジナルのスイーツ「cookieさん」を調理する生徒

「新しいものを創造する熱意やアイデアが伝わってきた」と話し、商品が店頭で並んだらいろんな方法で発信してほしい」と講評。柴田さんは「試行錯誤して作り上げた作品が認められうれしい。国内外の多くの人に食べてもらいたい」と話した。

(衣笠田布妃)



東アジア文化都市
2022大分県
Culture City of East Asia 2022. OITA

「できた」と柴田さん。SNS(交流サイト)映えするかわいらしさも意識したという。